

磐城日報

発行所 磐城日刊社
電話(呼) 〇三三八番
編集 藤田 徳平
印刷 丸山 徳平
毎週水曜日休刊
一ヶ月三十四日 購料 四

水戸に鐵道局！ 將來平には管理部か

今後大きく浮び上る「基点平」

二十五年度に於て全国に四に鐵道局が設置される事は、事になりその候補地の一つなく業務面の増加ばかりで、遂には完納の豫定で同村の完納によつて管内全部の葉

ケ所の鐵道局が新設される管内従業員増加ばかりで、遂には完納の豫定で同村の完納によつて管内全部の葉

事になりその候補地の一つなく業務面の増加ばかりで、遂には完納の豫定で同村の完納によつて管内全部の葉

として水戸と宇都宮が挙げられると共に施設の改

られたので水戸市では逸早く急進に行われる事で常

くも縣當局と協力して誘致を積極的に行われ、電化計画

運動を展開して来たが、こと相まつて平地方に及ぼす

の程「水戸鐵道局」の設置好影響は極めて甚大であり

が確定した旨の朗報に接し大いに期待されている

て凱歌を奏した水戸に新た

平管理部設置は 今後の運動如何!!

(別項)水戸鐵道局が實現さるる区域に持つ外場合によつた時、平市には平管理部は富岡驛迄を持つと共に、理部がこれまた新設されその区域内の省管自動車も、るのではないかと關係方面吸収するとの案だがこれは、では嬉しい観測をして、今後に残される課題で管理、という事は水戸鐵道局お除部の設置も結局は運動の如、元の現水戸管理部は業務に何にある譯である

編輯を來すため管理區域を、變更して一部を新設の平管、理部に譲り平管理部は平、中心に常磐線は高秋迄管轄、線は川前か或は小野新町迄、二日より入遠野村の煙草、千二百七名満期者百十一名

求職者と保險金

支拂いで廳内ゴツタ返し

失業増大の危機、求職者が一月中の求人、に就て平職安所、聞いて見たら

求職六三五人に對し求人、一八三人(日傭業を除く)、でその就職は九四名とい、ふ悪成績、主なる就職先、は土建業(一〇)商店接客、(一〇)等で女は男に比し、四分の一の低調さ實に嘆、かわし實情 尙一月末日、現在の失業保險受給者は二、千三百二十一名満期者百八、三名無資格百八十名計二千、六百八十四名で十二月に比、較すると失業保險受給者二、

青色申告

届出期限に延期、期待された青色申告は各、地とも頗る低調のため一、月末日となつて居るのを、一般は本月初旬迄迄農業、は二月末迄受付ける事に、延期されたので平税務署、ではその旨注意を促すと、共に今度こそ漏れなく届、出る様警告を發している

轉覆漁船の 三死体漂着

三十一日、未明の暴、風雨で遭毎に出した福引を改めて聯

社黨常磐擴大 大委員會

社會黨常磐地區協議會第四、回擴大委員會は明四日午前、十時半から平國テックラ、で開くが常磐では同黨の分、裂を避けて統一ですむ様、である

庶民住宅の くじ引

市内八幡小路に建設された、庶民住宅二十戸はこの程完、成したので十日土木課で割、當の抽籤會を行ふが希望者、は同課へ申込み事

旧歳末大賣 出し

九日から一齊に、平市各商店の舊歳末聯合大、賣出しは九日から一齊に行、はれるがこん回からは各町、は類似のないアパートを、一棟(二十四戸)宛建築す

靴

平市三町目
菊一
TEL446

木炭のヤミ

三坂の雜貨屋送檢、三坂村大字下三坂字中町三、三雜貨商大谷正記(三)は九、月以降より全地内小運送業、永山五之助外二名より木炭、二百三十五俵を買取木炭販、賣業でないにもかゝらわら、田村郡夏井村大字北田字原、井の佐藤満憲さんに販賣し、た事が發覺二日送檢

配給だより

△市經濟課では一月分家庭、用として砂糖を四日から、配給配給量は一人當り三、百グラム(十九圓五十錢)、△石鹼を四日から一人一個、當り配給價格十圓七十錢

お隣の日立

水戸の兩市では、三月を過ぎると、半額の国庫補助、を得て鐵筋コン、クリート四階建の地方に、は類似のないアパートを、一棟(二十四戸)宛建築す

るといふ事だ。日立も水、戸も平市以上の戦災を蒙、つて居るのだが、その復、興振りは實に目覚しく住、宅も既に戦災前の水準に、今一息というところ迄到、達してるとの事である。、これに對しわが平市はど、うであるかを見ると、住、宅難の緩和などは遠い夢、で神社、佛閣、禿の生活、者が未だに残り、アパー、トといえは五色町にある、ギン／＼ガタ／＼の非文、化的な三棟があるだけで、ある。對外的に全く氣運、れがしてならない。われ、は負擔力の乏しい市、當局に大慶高樓の建築を、望もうとはしないが、せ、めて五色アパートよりは、ガツチリしたアパートの、數棟を鐵道以北なり鯉岡、幕の内方に建設して、勤勞階級の住宅難緩和へ、乗り出されん事を切望す、るものである

